

製品名: CDH1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80908**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	135kDa

抗原情報

遺伝子名	CDH1
別名	UVO; CDHE; ECAD; LCAM; Arc-1; CD324; CDH1; E-cadherin; E cadherin
遺伝子 ID	999.0
SwissProt ID	P12830
免疫原	大腸菌で発現したヒト CDH1 の精製された組み換え断片。

背景

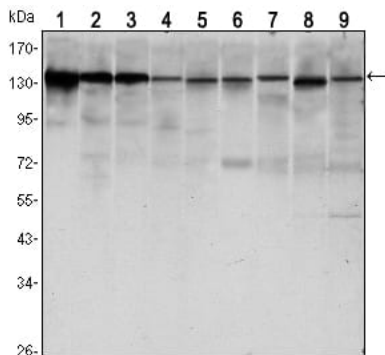
E-カドヘリンは、上皮細胞の接着結合部に局在する 120 kDa の膜貫通糖タンパク質です。そこで、E-カドヘリンは細胞質カテニンタンパク質を介して細胞骨格と相互作用します。カルシウム依存性接着分子であることに加え、E-カドヘリンは上皮結合形成の重要な

制御因子でもあります。カテニンとの結合は細胞間接着に不可欠です。これらの E-カドヘリン/カテニン複合体は、接着帯と側方接着プラークの両方で皮質アクチン束と結合します。チロシンリン酸化はこれらの複合体を破壊し、細胞接着特性の変化をもたらします。E-カドヘリンの発現は、浸潤性の高い低分化癌においてしばしば低下しています。これらの細胞における E-カドヘリンの発現増加は、浸潤性を低下させます。したがって、E-カドヘリンの発現または機能の喪失は、腫瘍形成の進行における重要なステップであると考えられます。組織特異性: 非神経上皮組織。

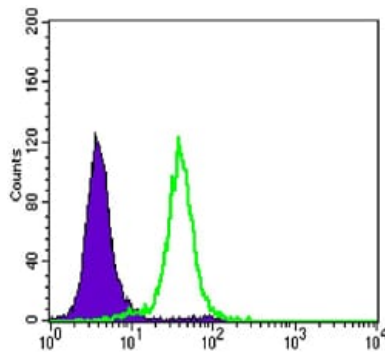
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路

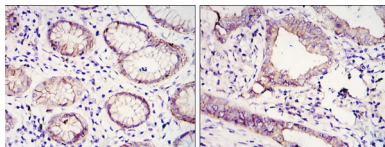
画像データ



CDH1 マウス mAb を用いた LNCAP (1)、A431 (2)、DU145 (3)、PC-3 (4)、MCF-7 (5)、PC-12 (6)、NIH/3T3 (7)、C6 (8)、COS7 (9) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



CDH1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CDH1 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト胃癌組織 (左) および肺癌組織 (右) の免疫組織化学分析。